

〈連続セミナー〉

Black Lives Matter 運動から学ぶこと

— 多文化共生、サステナビリティについて考えるために —

スピンオフイベント

1回
継続

ヘイトスピーチは、BLM運動の主たるターゲットである構造的差別のひとつの現象形態である。ヘイトスピーチに対して、いかなる法的措置がありうるだろうか。本セミナーでは、ヘイトスピーチに関する国内の法令・判例・学説を概観し、憲法・国際人権法の観点からそれらに再検討を加える。

ヘイトスピーチと表現の自由 — 憲法的考察

奈須 祐治

西南学院大学法学部教授
(憲法)



コメンテータ

✕ 萩原 優理奈

東京外国語大学大学院
総合国際学研究院博士後期課程
(国際人権法)

司会

✕ 松隈 潤

東京外国語大学大学院
総合国際学研究院教授
(国際法)



2021年11月16日(火) 16時00分～17時30分
Zoomでのオンライン開催

使用言語: 日本語

参加費: 無料

事前申し込みが必要です。(本学学生優先。先着受付順)

参加ご希望の方は、11月15日(月) 正午(日本時間)までに、

右の二次元コードを読み取り、参加登録フォームより事前登録をお願いいたします。
ホームページからも登録できます。

URL: http://www.tufs.ac.jp/event/2021/211101_1.html

問い合わせ先: BLM-seminar@tufs.ac.jp (連続セミナー担当)



今後開催が予定されているテーマ ▶

第2回 共生について

第3回 BLM運動と大学 留学生の視点から

主催: 東京外国語大学多文化共生研究創生WG